

## 福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

留学先大学：ラトガース大学

氏名：内藤 来

<はじめに>

留学開始から5か月が経過しました。今回はラトガース大学に留学する際に気を付けることについて書きます。費用については先月分の報告書に書いたのでもちろんで見てください。

### 1. 現地での交友関係について

以前の報告書でも既述したようにラトガース大学のキャンパスは非常に広いです。また授業の数も福井大学とは比べ物にならないほどあります。いまのところ日本で見られるように友達と履修を合わせて一緒に授業に行くということはないですし、現地の学生でもそのような姿は見たことがありません。現地に到着して数日すると、留学生向けの交流会などが開かれていろいろな人と話すことができますが、なにせ各々専門は違い、履修も異なってくるのでそこから交友を深める機会があまりないのかな、と感じています。



ラトガースのショップです。ラトガース関連の商品がとてもたくさん並んでいます

授業内で知り合いになった人でも授業が終わると寮に帰る人もいれば、次の授業に行く人もいますし、食堂に行く人もいます。実際に食堂にいてもかなりの数の人が一人でご飯を食べていますし、現地の生徒であってもなかなか友達と時間を合わせて食事を食べることは難しそうに見えます。逆に福井大学はラトガースと比べると、留学生が全生徒における比率は少なく、また多くの生徒が日本語の授業やグローバルハブなどで知り合い交友を深めることができます。この点で福井大学は海外からくる留学生にとっては非常に良い点だと思います。

もちろん積極的な性格の人は困ることはないと思います。ただやはり日本の外となると自分から話しかけにくい人も多いと思いますが、もしすぐ友達があまりできなくてもあまり心配しなくて大丈夫だと思います。ラトガースには日本専攻もありますし、日本語会話クラブもあります。日本人の知り合いの留学生もそこで友達を作ったそうなので、そこに参加するのも一つの方法だと思います。今よく一緒にいる友達も日本への留学説明会で知り合いました。

### 2. 現地で使うお金について

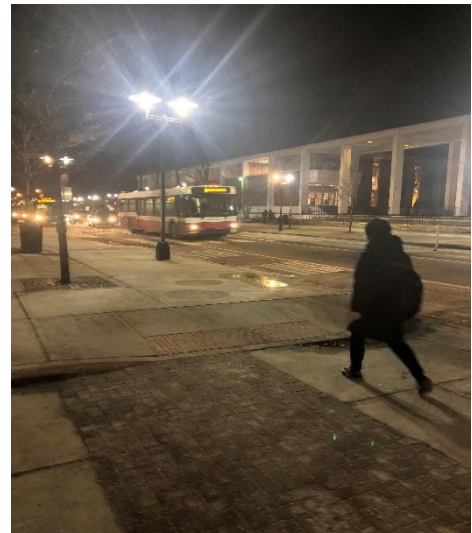
アメリカで最も驚いたことの一つが、アメリカはカード決済が非常に発達しているということです。カードが使えない場所は今までありませんでした。また自動販売機までもカード決済に対応しています。紙幣や硬貨はチップにしか使わないという人もいます。

おすすめはやはり、出発前にデビットカードを作るのが良いと思います（VISA, Master Card以外の会社はアメリカだと使えないことが多いので注意が必要です）。現地で口座を開設してカードを作ることもできますが、日本で済ませておいたほうが良いかと思います。稀にカード情報を入力する際に請求先がアメリカになっていないと使えない場合があるので、その点においては少し不便かと思いますがそれくらいです。デビットカードがあれば、現地で現金も引き出せますし、保護者もアプリで残高を確認することができるので安心です。チップについてはいろいろ調べたうえで渡航しましたが、特にその必要はなかったなという感じです。

### 3. 授業態度の評価について

アメリカの大学では生徒が良く発言するというイメージがあります。このイメージは基本的にあっています。先生が授業中に生徒に質問を投げかけることはとても普通のことで、先生も積極的に授業に参加してほしいと生徒に求めますし、成績の一部である **participation** には出席に加えて、積極的な参加が必要とほとんどのシラバスに書いてあります。

自分は1学期目に授業中に自分から発言することがあまりできなかったのが成績に悪く響いていると思っていたのですが、成績を見ると特に大きく響いているわけではなさそうでした。もちろんだからといって発言しなくてよいということではないですが、いきなりアメリカの大学の授業でバンバン発言するのは簡単ではありません。発言以外の部分でしっかり能動的に授業に参加していることは示すことができますし、おそらく先生もそれをしっかり見てくれていると思います。気持ちに余裕ができるまではできることからしっかりやればよいと思います。



今年は大寒波がありマイナス 18°Cまで下がりました。風も強く歩けないほどでした。

<おわりに>

今回はラトガースで気を付けるべきこと、事前に知っておいたほうが良いことについてかきました。次の報告書では留学して改めて感じた日本の良さについて書こうと思います。

